植物関連雑誌のタイトル紹介

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-09-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中田, 政司, Nakata, Masashi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00055354

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

植物関連雑誌のタイトル紹介

(括弧内は頁数を示す。雑誌によっては編集部で植物自然史関係のもののみ選択した。雑誌の閲覧を許可された富山市科学文化センター，富山県中央植物園に感謝いたします。掲載を希望される方は，雑誌を編集部までお送り下さい。)

○ **利尻研究** 第20号 2001年3月
(〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町136 利尻町立博物館)
宮本誠一郎：礼文島のハマウツボ科（61-62）／丹羽真一・渡辺 修・渡辺展之：利尻島種富湿地の高等植物相（69-74）／丹羽真一・渡辺 修・渡辺展之：利尻島鴛泊ポン山の高等植物相（75-84）／丹羽真一・渡辺 修・渡辺展之：利尻島エゾゴゼンタチバナ個体群の生育環境と構造（95-101）／丹羽真一・渡辺 修・渡辺展之：礼文島風衝草原の希少植物5種の個体群構造（103-112）

○ **小樽市博物館紀要** 第14号 2001年3月
(〒047-0031 北海道小樽市色内2-1-20 小樽市博物館)
渡辺順子：小樽市長橋なえぼ地区における高等植物相の記録（29-46）／五十嵐博・丹羽真一・渡辺 修：北海道羊蹄山の高等植物目録（91-117）／渡辺展之・丹羽真一・渡辺 修：羊蹄山におけるオノエリンドウの生育環境と個体群構造（119-126）

○ **秋田県立博物館研究報告** 第26号 2001年3月
(〒010-0124 秋田市金足鳥崎字後山52 秋田県立博物館)
武田秀雄：太平山山麓落葉広葉樹二次林の植物（9-12）

○ **埼玉県立自然史博物館研究報告** 第18号 2000年12月
(〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀞町長瀞1417-1 埼玉県立自然史博物館)
菊池久雄：埼玉県深谷市に出現したシダ植物アカウキクサ科オオアカウキクサ（*Azolla japonica* Fr. et Sav.）の移入と生育（41-45）

○ **栃木県立博物館研究紀要** 第18号 2001年3月
(〒320-0865 栃木県宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館)
樋口利雄・福田廣一：栃木県栗山村赤下風穴の植生（31-44）／樋口利雄・福田廣一：栃木県横根山井戸湿原の植生（45-76）／福田廣一・湯沢陽一・山田耕作：文献に基づいた栃木県産の苔類とツノゴケ類チェックリスト（77-88）／松本達雄・原田 浩・福田廣一：栃木県産の地衣類（2）．奥鬼怒地方の *Thelotrema* 属（チブサゴケ科）について（89-92）／原田 浩・福田廣一：栃木県産の地衣類（3）．赤下風穴の地衣類（93-97）／原田 浩・福田廣一：栃木県産の地衣類（4）．日蔭風穴の地衣類（99-101）

○ **千葉県植物誌資料**
(〒260-0852 千葉市中央区青葉町955-2 千葉県立中央博物館・大場達之気付 千葉県植物誌資料編集同人)
17 2000年12月—大場達之：“エノシマ”問題—伊豆諸島起源植物と祖先種の浸透交雑現象—（125-128）
18 2000年12月—川名 興・天野 誠・大場達之：ツノミチョウセンアサガオとオオセンナリの帰化（129）／大場達之：植物の記録手段としての“Scannography”（130-132）／寺村敬子・大場達之：ノジトラノオとオカトラノオの自然雑種（ノジオカトラノオ—新称）（133-136）／木村陽子：スナシバ再発見と千葉県のシバ属（137-138）／川名 興：ヤブチョロギが千葉県に帰化（138）／木村陽子・川名 興：ホソバフウリンホオズキが千葉県に帰化（139）／大場達之：エダウチアキメヒシバ（新称）（139-140）

○ **東京都高尾自然科学博物館研究報告** 第20号 2001年3月
(〒193-0844 東京都八王子市高尾町2436 東京都高尾自然科学博物館)
森廣信子：奥多摩地域の二次林におけるミズナラ *Quercus crispula* Blume およびコナラ *Quercus serrata* Thunb. ex Murray の結実変動（24-27）

○ **神奈川自然誌資料**　第22号　2001年3月
(〒250-0031　神奈川県小田原市入生田499　神奈川県立生命の星・地球博物館)
浜口哲一：大山における開花季節調査（5-12）／北川淑子・山田　晋：多摩丘陵における谷戸田の植物相（13-18）／浜口哲一：湘南海岸に漂着したゴバンノアシの果実（19-20）

○ **川崎市青少年科学館紀要**　第12号　2001年3月
(〒214-0032　川崎市多摩区枡形7-1-2　川崎市青少年科学館)
吉田三夫：トキホコリの生活について（57-60）／吉田三夫：川崎北部の水田雑草群落（春型）（61-53）／吉田三夫：生田緑地の草本群落（65-72）

○ **長岡市立科学博物館研究報告**　第36号　2001年3月
(〒940-0072　長岡市柳原町2-1　長岡市立科学博物館)
櫻井幸枝・石澤　進：新潟県及び本州中部地域に生育するアキノタムラソウ亜属の分類と分布（7-34）

○ **長野県植物研究会誌**　第34巻　2001年6月
(〒390-8621　松本市旭3-1-1　信州大学理学部生物学教室内　長野県植物研究会)
樋口美香・土田勝義：松本市街地における樹林の現状と評価―ビオトープの観点から―（1-10）／友野増夫・林　一六：東信地区におけるスゲ属の分布（11-24）／大塚孝一：長野県におけるベニシダの分布（25-34）／大塚孝一：長野県のシダ植物雑記（9）（35-40）／飯島敏雄：御岳山火口湖群の淡水藻類I珪藻類（41-45）／横内文人：植物ニュース；オクハラシロツメクサ（新称）（マメ科），ハマクサギ（クマツヅラ科）（46）／小山泰弘：長野県内におけるササ開花情報（3）～2000年～（47-48）／横内文人：日本中央アルプスの高山植物（1）（49-62）／清水建美：「長野県植物誌」補遺（4）（63-70）／清水建美：長野県植物誌資料集の出版に向けて―長野県植物誌資料集作成委員会の報告―（71-72）／岩見啓子：飯山の「塩の道」と秋山郷の「御宝木」の植生と生態の観察会に参加して（75-76）／大平仁一：北信地方の主な植物分布（77）

○ **長野県自然保護研究所紀要**　第4巻　2001年3月
(〒381-0075　長野市北郷2054-120　長野県自然保護研究所)
別冊長野県自然保護研究所第一期「プロジェクト研究」報告書
1.「長野県の多様な自然環境とそれに関わる社会環境の現状把握」ii+364 pp.
2.「長野県の多様な自然環境に関する調査研究―高山帯の多様な自然環境の現状把握―」iii+50 pp.

○ **富山県中央植物園研究報告**　第6号　2001年3月
(〒939-2713　富山県婦負郡婦中町上轡田42　富山県中央植物園)
兼本　正：琉球列島産セイタカスズムシソウとオキナワスズムシソウ（キツネノマゴ科）の核形態（英文）（1-4）／中田政司・高橋一臣・加藤治好：立山室堂平産高山植物31分類群の細胞学的研究（英文）（5-20）／山下寿之：富山県内のコナラ二次林の種類組成と遷移（21-30）／神戸敏成：低温保存したユリのカルスからの植物体再生（英文）（31-36）／高橋一臣・志内利明：ヤマボウシの実生形態の比較―氷見と箱根の種子からの―（37-41）／中田政司：富山県におけるホクリクムヨウランの自生地（43-46）／志内利明・兼本　正：富山県中央植物園に栽培されている植物の染色体数（2）（英文）（47-51）／吉田めぐみ・吉田　稔：立山室堂平におけるライチョウの棲息地の植生（53-65）／大原隆明：富山県フロラ資料（5）（67-81）

○ **富山市科学文化センター研究報告**　第24号　2001年3月
(〒939-8084　富山市西中野町1-8-31　富山市科学文化センター)
根来　尚：富山県氷見市島尾海岸におけるハナバチ相の生態的調査（43-51）／根来　尚：富山県小矢部市の農耕地および大門町庄川河川敷におけるハナバチ相の生態的調査（53-65）／佐藤　卓：富山県立山におけるハイマツ，ハッコウダゴヨウ，ゴヨウマツの球果の形成について（73-81）／佐藤　卓：富山県立山におけるハイマツ（*Pinus pumila* Regel）の年枝成長と春季の気象要因との関係（83-86）／上野達也・太田道人：富山県新記録の植物14　常願寺川河川敷産のものを主として（93-94）／太田道人：富山県新記録の植物15（95-96）

○ **富山の生物** 第40号 2001年3月
(〒930-8555 富山市五福3190 富山大学教育学部生物学研究室 富山県生物学会)
松田道子・和田直也・西村 格：呉羽丘陵二次林における植生の構造とアカネズミの生息状況（1-8）／長井真隆・松久 卓：降積雪期におけるブナの露地発芽試験（21-25）／平内好子・佐藤 卓：富山県瀬戸蔵山ブナ林の温度測定結果と融雪期の土壌動物群集（27-33）／佐藤 卓：2000年全国ブナ結実状況（35-41）／志垣修介：長野県天狗原のケイソウ（59-63）／中川定一：キヨズミオオクジャクシダ，オオクジャクシダ，ハコネオオクジャクシダ3分類群の識別点について（67-68）／佐藤 卓：韓国雪岳山エクスペディション（71-76）

○ **石川県白山自然保護センター研究報告** 第27集 2000年12月
(〒920-2326 石川県石川郡吉野谷村木滑ヌ4 石川県白山自然保護センター)
野上達也：ハクサンオオバコ（*Plantago hakusanensis* Koidzumi）の種子発芽におよぼす温度および保存期間の影響（7-10）

○ **福井市自然史博物館研究報告** 第47号 2000年12月
(〒918-8006 福井市足羽上町147 福井市自然史博物館)
出村幹英：杣山の植物（47-59）

○ **鳳来寺山自然科学博物館館報** 第30号 2001年3月
(〒441-1944 愛知県南設楽郡鳳来町門谷字森脇6 鳳来町立鳳来寺山自然科学博物館)
加藤等次：阿寺の七滝の植物（9-28）／牧野彦二：ユリの奇形花について（29-32）

○ **みねはな** 第48号 2001年3月
(〒603-8112 京都市北区小山元町44 吉川直人方 みねはな会)
神野一郎：ヒサウチソウ（1-7）／片山泰雄：トクシマコバイモについて（8-11）／岩渕公一：雪割草：貧乏育種家の豊かな暮し（12-13）／田中 清：タコノアシ（14）／石川 律：コゴメキノエランの奄美大島へ（15-17）／日原誠介：日本レッド・データ・プランツ繁殖記（4）（18-23）／岡島一允：のぞき箱について（24-25）／原野谷朋司：季節差の調整—南半球植物の馴化—（26-28）／吉年祐一：ポルトガル春の花旅（29-38）／冨士本久登：羊歯の自然実生（39-41）／神園英彦：モイワランを青森県で観察する（42-44）／高橋 亮：島（答志島）のカンアオイ（45-46）／大島英夫：自然にこだわる—山草園芸とは—（52-55）／藤井俊雄：花漫遊（56）／渡部健二：野草の種子播き2300万粒—富士山の緑化推進—（58-64）／齋木保久：花の国，トルコ（65-71）／森田至宏：斑入りミズバショウ（72-73）／唐澤耕司：口絵解説＝ミズトンボ属2題（73）／久志博信：鳥海山の夏（74-75）／合田隆行：「落ち穂拾い」—近畿山草クラブの生い立ちと龍見幸郎（76-83）／西山 喬：イワダレヒトツバに魅せられて（84-86）／鈴木史郎：菌類と植物の相互作用（87）／森和男：山野草とイングリッシュガーデンの興亡（92-105）／吉川直人：モリンダ（*Morinda*）（ヤエヤマアオキ）の木について（106）／神園英彦：コオロギランの群生（142）

○ **奈良植物研究** 第23号 2001年3月
(〒840-0041 奈良市左京2-2-227 菅沼孝之方 奈良植物研究会)
山本修平：カサモチ（セリ科）について（1-3）／森本喜興：釈迦ケ岳古田の森のブナ林（5-9）／加藤禎孝：奈良公園に分布するイラクサ（11-14）／川端一弘：江戸時代前期の「ナラノヤエザノラ」の記録（15-19）／前迫ゆり：奈良公園および春日山原始林におけるシカの採食に対する変化（21-25）

○ **三重自然誌** 第6号 2000年12月
(〒514-0006 津市広明町147-2 三重県立博物館気付 三重自然誌の会)
特集 海山町船越池のハマナツメ群落 尾鷲自然研究会：三重県海山町船越池ハマナツメ群落保護活動小史（1-2）／山本和彦・七見憲一・佐野順子・田崎通雅：三重県海山町船越池の植生および植物相（3-15）／山田耕作：三重県北牟婁郡海山町船越池ハマナツメ群落内のコケ植物と地衣植物（16-18）／宮本 太・高山晴夫・増田奈保子：海山町船越池（三重県）に生育する絶滅危惧種トダスゲの集団構造とその生育状況（19-23）

○ **人と自然**　第11号　2000年12月
(〒669-1546　兵庫県三田市弥生が丘6丁目　兵庫県立人と自然の博物館)
林　陽平・澤木昌典・柴田　祐・鳴海邦碩：兵庫県三田市に残存する孤立林の立地特性に関する研究（1-11）／服部　保・小舘誓治・石田弘明・田村和也：鹿児島県栗野岳の照葉樹林における標高頻度に対する構成種，種多様性の分布（13-41）／田村和也・服部　保・小舘誓治・石田弘明：兵庫県における里山林の地上部現存量（77-83）／福岡誠行・黒崎史平・高橋　晃（編）：兵庫県産維管束植物2（115-125）

○ **兵庫の植物**　第11号　2001年5月
(〒654-0121　神戸市須磨区妙法寺字岩山1054-3　藤本植物研究所内　兵庫県植物誌研究会)
小山博滋：コキンレイカの分布域をめぐって（1-4）／中澤博子・清水伸子・小林禮樹・黒崎史平：美方郡浜坂町の植物目録（5-70）／広瀬重夫：兵庫県の海岸植物とその現状（71-88）／藤本義昭・小林禮樹：ウンヌケとウンヌケモドキ（イネ科）の葯の観察（89-94）／中尾茂樹：最近出会った植物（95-98）／矢内正弘：ウマスゲ（カヤツリグサ科）を揖保郡揖保川町で採る（99-100）／水田光雄：神戸港新産の帰化植物（101-103）／水田光雄：部分帰化植物のオオミミナグサについて（104-106）／矢内正弘：但馬地方植物採集記（8）（99-108）

○ **岡山県自然保護センター研究報告**　第8号　2000年12月
(〒709-0524　岡山県和気郡佐伯町田賀730　岡山県自然保護センター)
高橋和成・田戸　亨・守谷ほのか・平井　悠・草井　悠：児島湾干拓地における畦雑草群落の移り変わり（1-10）／西本　孝・波田善夫：岡山県自然保護センター湿生植物園の植生4．移植後9年目の植生（11-24）／地職　恵・西村直樹・立石幸敏：本山寺及び本山寺学術参考保護林（岡山県柵原町）の蘚類（25-32）／西本孝：岡山県自然保護センター湿生植物園5．設立後7年目から9年目までの管理（47-57）

○ **比和科学博物館研究報告**　第40号　2001年3月
(〒727-0301　広島県比婆郡比和町大字比和　比和町立自然科学博物館)
村岡奈苗：琉球列島産　海産種子植物の繁殖の季節生物学的観察（英文）（123-140）

○ **比婆科学**　第198号　2000年7月
(〒727-0013　広島県庄原市西本町1丁目7-7　中村慎吾方　比婆科学教育振興会)
窪田雄一・窪田正彦：広島県植物誌資料（1）（47-51）／太刀掛優：くさもみじの観察（53-62）／太刀掛優：アサカズラを大崎島で確認（66）

○ **鳥取県立博物館研究報告**　第37・38号　2001年3月
(〒680-0011　鳥取市東町2-124　鳥取県立博物館)
清末幸久：鳥取県三朝町内に遺存するミツガシワ湿原の植生（1-14）

○ **佐賀自然史研究**　第7号　2001年4月
(〒840-0041　佐賀市城内1-15-23　佐賀県立博物館内　佐賀自然史研究会)
上赤博文：佐賀平野のクリークの植物　その4（9-14）／宮脇博巳・神島和美：佐賀県産の地衣類チェックリスト（英文）（15-23）／岩村政浩：佐賀県新産の水草（35-40）／上赤博文：佐賀県で新たな分布が確認された植物（3）（41-45）／宮崎八州雄：鹿島市内でのアサザ（*Nymphoides peltata*）の記録（64）／上赤博文：佐賀県太良町田古里川河口の植物（予報）（69-70）

○ **佐賀の植物**　No.36　2000年12月
(〒840-0804　佐賀市神野東3-4-6　井上英幸方　佐賀植物友の会)
上赤博文：植物トピックス2000（1-5）／井上千鶴：「マツヨイグサは，待酔草か。」（6-7）／岩村政浩：シズイの新産地（8-10）／貞松光男：佐賀県植物史片見（16）鍋島藩初代藩主勝茂の花好み（12-18）／神代智子：馬渡島から海風に乗せて（2）～どんぐりだんごをつくったよ～（19-22）／「佐賀の植物」標題索引（No.1～35）　S41～H11（26-40）／「佐賀の植物」著者別索引（No.1～35）　S41～H11（41-57）

○ **鹿児島県立博物館研究報告** 第20号 2001年3月
(〒892-0853 鹿児島市城山町1-1 鹿児島県立博物館)
森田康夫：トカラ列島諏訪之瀬島の植物採集記録 (25-38)

○ **沖縄県立博物館紀要** 第26号 2000年3月
(〒903-0823 那覇市首里大中町1-1 沖縄県立博物館)
宮城朝章・嵩原建二：末吉公園の植物とオオコウモリの餌植物について (47-84)

(編集部 中田政司編)